

JIS & JSAA COMPARISON

JIS規格とJSAA規格の比較 (抜粋)																
規格	JIS規格T8101安全靴	JSAA認定プロテクティブスニーカー														
マーク																
製品での見分け方	<p>JIS合格品は中敷(インソール)と靴底で確認することができます。</p> <p>インソールにJISマーク及びJIS認定番号などを表示</p> <p>【一例】</p> <p>MIDORI JIS 安全靴 CI/S/P1/M/F1 CE0208001 SK</p> <table border="1"> <tr> <th>材料区分</th> <th>作業区分</th> <th>カテゴリ表示</th> <th>付加的性能</th> </tr> <tr> <td>C1:革製安全靴 C2:総ゴム・総高分子製安全靴</td> <td>U:超重作業用 H:重作業用 S:普通作業用 L:軽作業用</td> <td>PB:基本性能のみ P1:E+BO P2:E+BO+P P3:E+BO+P+H P4:E+BO+UO P5:E+BO+UO+P</td> <td>P:耐踏抜き性 E:かかと部の衝撃吸収性 M:足甲プロテクタ F1:耐滑性区分1 F2:耐滑性区分2 BO:表底の耐燃料油性 UO:甲底の耐高熱接触性 H:表底の耐高熱接触性 HI1:靴底の高温熱伝導性区分1 HI2:靴底の高温熱伝導性区分2 ※他7表記号 計17記号</td> </tr> </table> <p>靴底にJISマークを表示</p>	材料区分	作業区分	カテゴリ表示	付加的性能	C1:革製安全靴 C2:総ゴム・総高分子製安全靴	U:超重作業用 H:重作業用 S:普通作業用 L:軽作業用	PB:基本性能のみ P1:E+BO P2:E+BO+P P3:E+BO+P+H P4:E+BO+UO P5:E+BO+UO+P	P:耐踏抜き性 E:かかと部の衝撃吸収性 M:足甲プロテクタ F1:耐滑性区分1 F2:耐滑性区分2 BO:表底の耐燃料油性 UO:甲底の耐高熱接触性 H:表底の耐高熱接触性 HI1:靴底の高温熱伝導性区分1 HI2:靴底の高温熱伝導性区分2 ※他7表記号 計17記号	<p>JSAA認定品はベロ裏で確認する事ができます。</p> <p>ベロ裏にJSAA規格で定める性能を表示</p> <p>JSAA A種</p> <p>性能ピクトー覧 安全区分:A種、B種性能表示項目</p> <table border="1"> <tr> <td>クッション性 衝撃吸収</td> <td>耐踏抜き性 耐踏抜</td> <td>耐滑性 耐滑</td> </tr> <tr> <td>静電気除去 静電</td> <td>漏れ防止性能 耐漏水</td> <td>※絵のタイプと文字のタイプどちらかを 使用しています。</td> </tr> </table>	クッション性 衝撃吸収	耐踏抜き性 耐踏抜	耐滑性 耐滑	静電気除去 静電	漏れ防止性能 耐漏水	※絵のタイプと文字のタイプどちらかを 使用しています。
材料区分	作業区分	カテゴリ表示	付加的性能													
C1:革製安全靴 C2:総ゴム・総高分子製安全靴	U:超重作業用 H:重作業用 S:普通作業用 L:軽作業用	PB:基本性能のみ P1:E+BO P2:E+BO+P P3:E+BO+P+H P4:E+BO+UO P5:E+BO+UO+P	P:耐踏抜き性 E:かかと部の衝撃吸収性 M:足甲プロテクタ F1:耐滑性区分1 F2:耐滑性区分2 BO:表底の耐燃料油性 UO:甲底の耐高熱接触性 H:表底の耐高熱接触性 HI1:靴底の高温熱伝導性区分1 HI2:靴底の高温熱伝導性区分2 ※他7表記号 計17記号													
クッション性 衝撃吸収	耐踏抜き性 耐踏抜	耐滑性 耐滑														
静電気除去 静電	漏れ防止性能 耐漏水	※絵のタイプと文字のタイプどちらかを 使用しています。														
本カタログでの見分け方 (一例)	<p>JIS T8101 CI/S/P1/M/F1 合格</p> <table border="1"> <tr> <th>材料区分</th> <th>作業区分</th> <th>カテゴリ表示</th> <th>付加的性能</th> </tr> </table>	材料区分	作業区分	カテゴリ表示	付加的性能	<p>JSAA認定A種 人工皮革製プロスニーカー / 踵衝撃吸収 / 耐滑</p> <table border="1"> <tr> <th>等級</th> <th>甲底の素材</th> <th>付加的性能</th> </tr> <tr> <td>A種 普通作業</td> <td>人工皮革製</td> <td>踵衝撃吸収、耐踏抜き性</td> </tr> <tr> <td>B種 軽作業</td> <td>編物製等</td> <td>耐滑性、静電</td> </tr> </table>	等級	甲底の素材	付加的性能	A種 普通作業	人工皮革製	踵衝撃吸収、耐踏抜き性	B種 軽作業	編物製等	耐滑性、静電	
材料区分	作業区分	カテゴリ表示	付加的性能													
等級	甲底の素材	付加的性能														
A種 普通作業	人工皮革製	踵衝撃吸収、耐踏抜き性														
B種 軽作業	編物製等	耐滑性、静電														

JISとJSAAの基本性能比較 (抜粋)							
規格	JIS規格T8101安全靴				JSAA認定プロテクティブスニーカー		
等級	U種 超重作業用	H種 重作業用	S種 普通作業用	L種 軽作業用	A種 普通作業用	B種 軽作業用	
耐衝撃性能	衝撃エネルギー (J)	200	100	70	30	70	30
	ストライカ質量 (kg)	20±0.2				20±0.2	
	落下高さ (cm)	102	51	36	15	36	15
	中底と先芯のすきま	※「試験時の中底と先芯のすきま」を参照ください				※「試験時の中底と先芯のすきま」を参照ください	
耐圧迫性能 (kN)	15±0.1	15±0.1	10±0.1	4.5±0.04	10±0.1	4.5±0.04	
表底はく離抵抗 (N) ※革製のみ	300以上	300以上	300以上	250以上	300以上 (革製・ゴム製) 200以上 (人工皮革・合成皮革・編物・プラスチック)	250以上 (革製・ゴム製) 150以上 (人工皮革・合成皮革・編物・プラスチック)	
漏れ防止性能 ※総ゴム製及び総高分子製	気泡が連続して出はならない				-		
甲底による種類	●クラス1…革製 C1 ●クラス2…総ゴム製及び総高分子製 C2				●革製 ●人工皮革製 ●合成皮革 ●編物 ●プラスチック ●ゴム		

JIS & JSAA COMPARISON

JISとJSAAの基本性能比較 / 試験時の中底と先芯のすきま

サイズ(足長)	JIS規格 / すきま (mm)	JSAA規格 / すきま (mm)
23.0以下	12.5以上	12.5以上
23.5~24.5	13.0以上	13.0以上
25~25.5	13.5以上	13.5以上
26~27	14.0以上	14.0以上
27.5~28.5	14.5以上	14.5以上
29以上	15.0以上	15.0以上

付加的性能 [JIS T8101とJSAA] (抜粋)

項目	JIS規格 / 記号	JIS規格 / 性能	JSAA規格 / マーク	JSAA規格 / 性能
耐踏抜き性	P	くぎ貫通時の力:1,100N以上	 耐踏抜き性	くぎ貫通時の力:1,100N以上
かかと部の衝撃エネルギー吸収性	E	吸収エネルギー:20J以上	 衝撃吸収	吸収エネルギー:20J以上
足甲の保護性(足甲プロテクタ)	M	(100 ± 2) J衝撃時残存高さ: 25mm以上	—	—
耐滑性	F1	区分1… 動摩擦係数 0.20以上0.30未満	 耐滑性	動摩擦係数:0.20以上
	F2	区分2… 動摩擦係数 0.30以上		
表底の耐燃料油性	BO	試験用油に浸漬後、 体積変化率が-12%~+12%内	—	—
甲被の耐燃料油性	UO	試験用油に浸漬後、 体積変化率が-12%~+12%内	—	—
表底の耐高熱接触性	H	表底300℃×1分間加熱で溶融なし、 屈折で亀裂発生しないこと	—	—
耐水性	W	浸水試験80分浸水がないこと	—	—
耐切削性	C	耐チェーンソー カットスルーが 生じないこと	—	—
電気絶縁特性	I-600	交流電圧300Vを超え 600V以下の電路用	—	—
	I-3500	交流電圧600Vを超え 3500V以下の電路用	—	—
	I-7000	電圧3500Vを超え 7000V以下の電路用	—	—
耐熱伝導性	靴底の 高熱伝導性	HI 1	区分1… 中底温度20度上昇に 20分以上30分未満	—
		HI 2	区分2… 中底温度20度上昇に 30以上	—
	靴底の 低温熱伝導性	CI 1	区分1… 中底温度10度低下に 20分以上30分未満	—
		CI 2	区分2… 中底温度10度低下に 30以上	—
漏れ防止性	—	—	 耐漏水	気泡が連続して出てはならない

※CII(長靴)では基本性能

JIS カテゴリー表示

項目		表示	PB	P1	P2	P3	P4	P5
材料区分			クラス1 (革製) 及び クラス2 (総ゴム・総高分子製)	クラス1 (革製)			クラス2 (総ゴム・総高分子製)	
基本性能	耐衝撃性能		○	○	○	○	○	○
	耐圧迫性能		○	○	○	○	○	○
	一部抜粋 表底剥離抵抗		○	○	○	○	○	○
付加的 性能	耐踏抜き性 (P)		-	-	○	○	-	○
	かかと部の衝撃エネルギー吸収性 (E)		-	○	○	○	○	○
	表底の耐燃料油性 (BO)		-	○	○	○	○	○
	表底の耐高熱接触性 (H)		-	-	-	○	-	-
クリート付き表底※			-	○	○	○	○	○

※クリート付きの表底… 靴底意匠の高さが2.5mm以上の表底

帯電防止性能 [JIS T8103とJSAA] (抜粋)

規格	JIS規格 T8103 (下記3つの区分より定められています)				JSAA規格 プロテクティブスニーカー		
帯電防止性能 による区分	電気抵抗 (R) ※靴1個当たりの電気抵抗				電気抵抗 (R) ※靴1個当たりの電気抵抗		
	種別	記号	測定温度 23±2℃	測定温度 0+2℃	マーク	測定温度 23±2℃	測定温度 0+2℃
静電靴	特種	EDX	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^7 (\Omega)$	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^8 (\Omega)$		$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^8 (\Omega)$	—
	一般	ED	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^8 (\Omega)$	$1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^9 (\Omega)$			
導電靴	—	EC	$R < 1.0 \times 10^5 (\Omega)$	$R < 1.0 \times 10^5 (\Omega)$	—	—	—
防護性能、甲被材料、 表底材料による区分	先芯	記号	甲被材料	表底材料	—		
安全靴	あり	P	革・耐油性ゴム 非耐油性ゴム 高分子材料	ゴム・発泡ポリウレタン 高分子材料	—		
保護靴	あり	O	革・ゴム・プラスチック・ビニルレザー 人工皮革・布又は合成樹脂引布	ゴム・発泡ポリウレタン プラスチック・発泡プラスチック	—		
作業靴	なし	W	革・ゴム・プラスチック・ビニルレザー 人工皮革・布又は合成樹脂引布	ゴム・発泡ポリウレタン プラスチック・発泡プラスチック	—		
環境区分	記号	測定温度 23±2℃				—	
1	G1	相対湿度：12±3%				—	
2	G2	相対湿度：25±3%				—	
3	G3	相対湿度：50±5%				—	

※マークは商品に表示